



農民の素朴さがみられる雨乞い祈願成就の感謝の踊り

バンバ踊



指定区分	県指定重要無形民俗文化財
読みかた	ばんばおどり
所在地	久米南町仏教寺(佛教寺)
指定年月日	昭和31年4月17日
解説	バンバ踊は、干ばつ時に佛教寺境内の龍王池に雨乞い祈願をし、慈雨を得ると踊られる感謝の踊である。寛永13年(1636)の干ばつに際し、当時の津山藩主、森長継の雨乞い祈願に始まるとされる。踊の奉納は、当初から佛教寺近郷の檀信徒の男性によって行われ、踊り手と太鼓打ちは、ともに女装してゆったりとした踊りを繰り返す。踊りの合い間には勇壮な棒術が披露される。
アクセス方法	JR弓削駅から車で約10分
公開状況	開催日:不定期 / 問:佛教寺 0867-28-2181
設備	【P】普通車40台、バス3台 <div style="display: flex; justify-content: space-around; align-items: center;"> 駐車場  トイレ  </div>
備考	雨乞いの踊りのため開催は不定期となっています。毎年7月中旬から8月下旬にかけて練習が行われます。開催日については佛教寺へお問い合わせください。

きつずページ



していくぶん (指定区分)	県指定重要無形民俗文化財
ぶんかざいめい (文化財名)	バンバ踊
よみかた	ばんばおどり
しょざいち (所在地)	久米南町仏教寺(佛教寺)
していたひ (指定した日)	昭和31年4月17日
せつめい	1636年に美作地方(みまさかちほう)は日照り(ひでり)が続(つづ)き、雨がふりませんでした。津山(つやま)のお殿(との)さまが佛教寺(ぶっきょうじ)の龍王(りゅうおう)さまに雨乞い(あまごい)をしたところ、恵(めぐ)みの雨がふりました。地方の人はよこんで感謝(かんしゃ)の踊(おど)りを踊るようになりました。これがバンバ踊りのはじまりです。